



南アルプス市長 石川 豊

春の穏やかな光と桜の花に見守られて誕生した南アルプス市も既に四年が経過いたしました。

「平成の合併」の先駆けとして、自立できる都市を目指し、市民のご理解のもと財政の健全化を図りながら、創意工夫を重ねた施策を展開した結果、合併効果も相俟って、人口も増加、優良企業の誘致も進み、新たな商業圏も確立されつつあります。

さらに、市の経済発展の生命線ともいえる中部横断自動車道も市内二ヶ所にインターチェンジが完成、接続される新山梨環状道路の利便性も高まり、市としての基盤整備も順調に進展しております。

しかしながら、全国的には総人口は減少に転じ、少子化・高齢化は予想を上回る速さで着実に進行し、これからの経済社会に深刻な影響を与えようとしているのも事実です。

このような状況の中、本市といたしましては、この恵まれた経済環境を、どのように南アルプスの大自然に融合させ、地域のブランド力を向上させるかが求められます。

市におきましても、世界に誇る南アルプスの自然環境を宝とし、澄んだ空気に育まれた特産の果実を広くPRするなど、山岳観光と果樹観光を一体化して、南アルプスに対するイメージアップを積極的に図っています。

この都市計画マスタープランは、地域の特性を活かしながら、道路や公園の整備、地域の環境や街並など、将来のまちづくりについての基本方針となるもので、市民の意向を最大限に反映できるよう、公募による「まちづくり研究会」での意見を踏まえ、策定審議会において素案を作成、都市計画審議会を経て策定されたものです。

そして、市民・企業・行政の相互協力のもと、誇りの持てるまちとしてそれぞれが都市を創造していく役割を持ってまいります。

今後は、この都市計画マスタープランを都市づくりの指針とし、様々な観点から南アルプス市の特性を活かしたプランであり続けるよう検証しながら、市の将来構想でもあります「人と自然が響き合う新文化都市・南アルプス」を目指してまいります。

結びに、本計画の策定に当たり、貴重なご意見やご提案をいただきました市民の皆様をはじめ、策定審議会並びに都市計画審議会など、関係者の方々に心から感謝を申し上げます。

平成19年3月